

## 利益相反(COI) 申告書

発表者名: 東洋花子演題名: 演題名を記載

(発表者全員並びに発表者全員の配偶者、一親等の親族及び生計を共にする者について、発表時から遡って過去3年間以内での発表内容に関係する企業・組織または団体との利益相反(COI)状態を発表者ごとに記載)

項目	該当の状況	有であれば、企業名などの記載
① 報酬 1つの企業・団体から年間100万円以上(源泉徴収税額等控除前の支払金額)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	
② 株式の利益 1つの企業から年間100万円以上(源泉徴収税額等控除前の支払金額)、あるいは当該株式の5%以上保有	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
③ 特許使用料 1つにつき年間100万円以上(源泉徴収税額等控除前の支払金額)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
④ 講演料等 1つの企業・団体からの年間合計50万円以上(源泉徴収税額等控除前の支払金額)	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	例: ○○製薬
⑤ 原稿料 1つの企業・団体から年間合計50万円以上(源泉徴収税額等控除前の支払金額)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
⑥ 研究費・助成金などの総額 1つの企業・団体からの医学系研究(共同研究、受託研究、治験など)に対して、申告者が実質的に用途を決定し得る研究契約金で実際に割り当てられた年間総額が100万円以上のものを記載	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	例: △△製薬
⑦ 奨学(奨励)寄附などの総額 1つの企業・団体からの奨学寄附金を共有する所属部局(講座、分野あるいは研究室など)に対して、申告者が実質的に用途を決定し得る研究契約金で実際に割り当てられた年間総額が100万円以上のものを記載	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
⑧ 企業などが提供する寄附講座 実質的に用途を決定し得る寄附金で実際に割り当てられた100万円以上のものを記載	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
⑨ 旅費、贈答品などの受領 1つの企業・団体から年間5万円以上	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	

(本利益相反(COI)申告書は発表後2年間保管されます)

(申告日) 20XX年 XX月 XX日

Corresponding author (自署) 東洋太郎

PC入力は不可となっております。  
必ず直筆にてサインをお願いします。